

山形県山形市

モニュメント

【概要・アピールポイント】

- ・選手村ビレッジプラザで採用されたレシプロカル架構を模したモニュメントを設置した。
- ・東京2020大会レガシー材であることや木材利用の意義等をプレートに表示した。
- ・除幕式を開催し、これまでの取組みについてPRした。



■ 資材提供のきっかけ

プロジェクトへの参画を通して、山形市産材のPRや林業の活性化に寄与したいと考えて応募した。

■ 提供した木材の概要

山形市南西部の「山形県県民の森」内に位置する、標高約600m、面積約34haの山形市有林板橋山から、地元の西山形地区の皆さんが植林し、大切に手入れしてきたスギの木を約42m³提供した。

■ 用途

・モニュメント 2基
プロジェクト参画の証を大会レガシーとして後世に残すため、選手村ビレッジプラザで使用された木材を使って、レシプロカル架構を再現したモニュメントを設置した。

■ 用途決定までのプロセス

提供木材を伐り出した地元である西山形地区コミュニティーセンターの改築にあたり、多くの市民の皆さんの目に触れるよう、モニュメントを設置するに至った。

■ 完成/使用開始時期

2022年4月

■ 製作・使用したものの設置・建設場所や利用者など

西山形コミュニティーセンター内玄関

■ 完成まで・完成後のエピソード

地元西山形地区の皆様や林業関係団体等50名にご参加いただき、モニュメントの完成を祝した除幕式を開催した。併せて、パネル展示を行い、取組みのPRを行った。

USED IN VILLAGE PLAZA
Yamagata City
山形市

東京2020
オリンピック・パラリンピック
競技大会レガシー

山形市は、東京2020オリンピック・パラリンピック選手村ビレッジプラザ「日本の木材活用」の一環として、西山形地区の皆さんが地区振興のため、昭和の時代に植林した板橋山市有林（大字町板橋山）の木材約42m³を提供しました。
このモニュメントは、プロジェクト参画の証を大会レガシーとして後世に残すため、実際に選手村ビレッジプラザで使用された木材を使って、レシプロカル架構（かこ）を再現したものです。
レシプロカル架構とは、3本の柱をツノスミとドク和柱により耐震性を高める構造で、選手村ビレッジプラザで採用された工法です。
3本の柱で屋根を支え合う様子からオリンピック関係者の間では、「絆（きずな）工法」の愛称で呼ばれています。

選手村ビレッジプラザの様子

詳しくは山形市ホームページをご覧ください。

問合せ先

森林整備課 森林整備係

電話：023-641-1212（代表）内線449・450

山形県山形市

四阿

【概要・アピールポイント】

- ・市有施設である西公園に、利用者が休憩したり景色を眺めて楽しむことができる四阿を設置した。
- ・東京2020大会レガシー材であることや木材利用の意義等をプレートに表示した。
- ・山形市公式ホームページでこれまでの取組みについてPRした。



■ 資材提供のきっかけ

プロジェクトへの参画を通して、山形市産材のPRや林業の活性化に寄与したいと考えて応募した。

■ 提供した木材の概要

山形市南西部の「山形県民の森」内に位置する、標高約600m、面積約34haの山形市有林板橋山から、地元の西山形地区の皆さんが植林し、大切に手入れしてきたスギの木を約42m³提供した。

■ 用途

- ・四阿 2基

プロジェクト参画の証を大会レガシーとして後世に残すため、選手村ビレッジプラザで使用された木材を使って、市有施設である西公園に四阿を設置した。

■ 用途決定までのプロセス

西公園は、二酸化炭素を吸収・固定するという緑の働きに着目し、地球温暖化に貢献する緑豊かな公園として整備されたもので、市内外から多くの方が訪れるため、木の良さを楽しんでもらえるよう、四阿を設置するに至った。

■ 完成/使用開始時期

2022年7月

■ 製作・使用したものの設置・建設場所や利用者など

①西公園バスケットコート前 ②西公園第2駐車場前

■ 完成まで・完成後のエピソード

- ・上記①の四阿の中央部に、選手村ビレッジプラザ採用されたレシプロカル架構を再現したモニュメントを配置した。
- ・木材に焼き印(刻印)があるため、公園を訪れる多くの市民の目に触れることで将来にわたるレガシーになれば良い。



問合せ先

森林整備課 森林整備係

電話：023-641-1212（代表）内線449・450